

○ 幸町地区の概要

【資料 4-1】

幸町地区には、戦前は海軍の下士官兵集会所として、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設として多くの方に親しまれてきた青山クラブ・桜松館を始めとして、国の重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎や呉市の歴史資料を展示している歴史民俗資料館等がある呉市入船山記念館、呉市の芸術の拠点としての役割を担ってきた呉市立美術館があり、市民や観光客が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区。

【位置図】 ※地区面積：22,759 m²（呉市公有財産台帳による）



○ 各施設の概要と現状・課題

施設名		建築年	延べ面積	現状・課題
①青山クラブ		昭和11年	10,927.2 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前は、海軍の下士官兵集会所として、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設として使用された歴史がある。 ・建物が耐震基準を満たしていないため、耐震診断やニーズ調査等を行いながら、これまで活用方法についての検討を進めてきた。 ・施設の一部が土砂災害特別警戒区域内にあるため、対策を講じる必要がある。
②桜松館		昭和4年	1,963.7 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前は、海軍の講堂として、戦後は海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用された歴史がある。 ・建物が耐震基準を満たしていないため、耐震診断やニーズ調査等を行いながら、これまで活用方法についての検討を進めてきた。
入船山記念館	③旧呉鎮守府司令長官官舎	明治38年	527.1 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年から3年掛けて、解体と復原修理を実施した。 ・平成10年に国の重要文化財に指定された。
	④歴史民俗資料館（近世文書館）	昭和61年	484.8 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・建築・整備をしてから長期間が経過しており、施設・設備が老朽化している。 ・呉市の歴史資料を展示しているが、展示設備等が老朽化している。 ・資料の収蔵スペースが不足しており、資料が分散している。
	⑤郷土館	昭和54年	358.4 m ²	
	⑥2号館（収蔵庫）	昭和42年	76.3 m ²	
美術館	⑦本館（展示室）	昭和57年	2,790.9 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、文化の発展に資するための施設として、美術品の収蔵・展示や教育普及活動に取り組んでいる。 ・本館は、開館から40年が経過し、施設・設備が老朽化しており、「呉市公共施設に関する個別施設計画（令和3年3月策定）」では、令和14年度に建替えという方針が示されている。 ・本館の一部（屋根）が耐震基準を満たしていない。 ・収蔵・展示スペースが不足している。 ・本館（展示室）と別館（収蔵庫）が離れており、運用上の課題がある。 ・本館の一部が土砂災害特別警戒区域内にあるため、対策を講じる必要がある。
	⑧別館（収蔵庫）	平成5年	781.7 m ²	